

運輸・倉庫業

業況、売上、採算

今期（2020.10～12）の業況判断DIは▲31.2で、前年同期（2019.10～12）と比べ36.4ポイント低下し、大幅なマイナスに転じました。

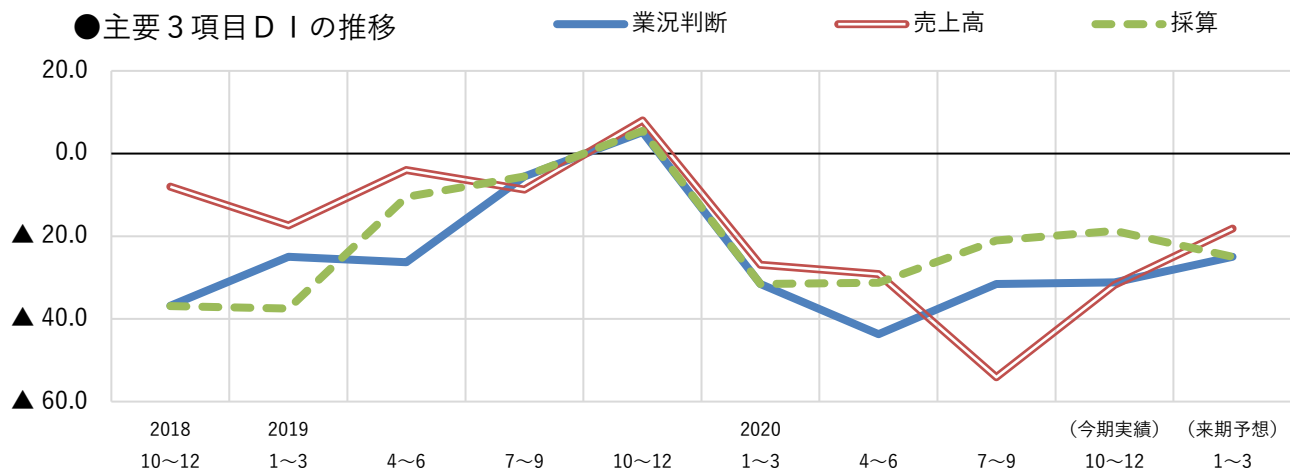
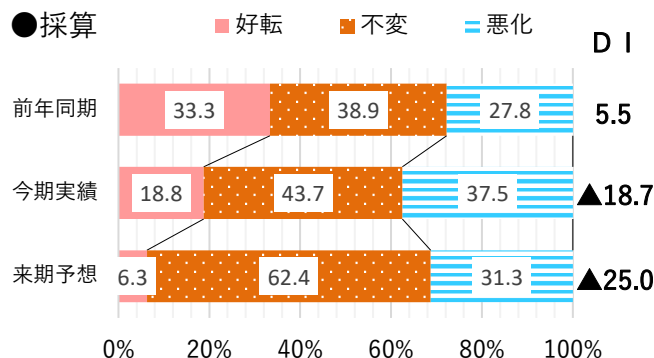
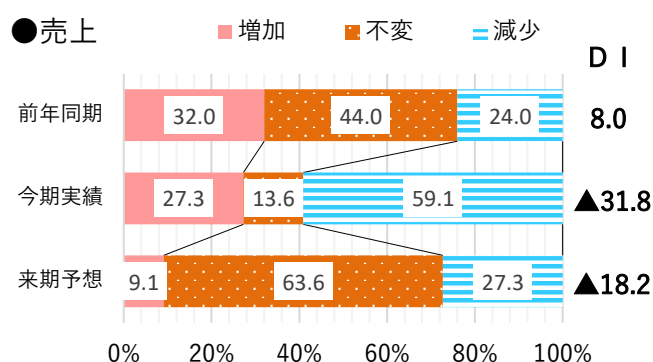
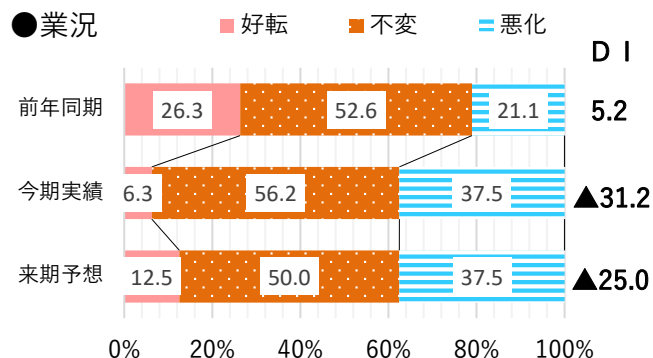
来期（2021.1～3）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。

今期の売上高DIは▲31.8で、前年同期と比べ39.8ポイント低下し、大幅なマイナスに転じました。

来期は、売上の悪化傾向が弱まると予想しています。

今期の採算DIは▲18.7で、前年同期と比べ24.2ポイント低下し、大幅なマイナスに転じました。

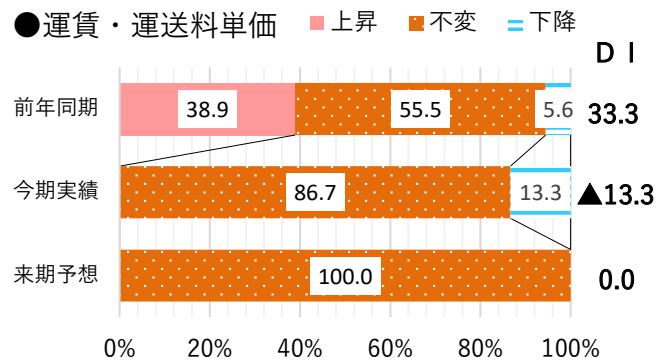
来期は、採算の悪化傾向が続くと予想しています。



運賃・運送料単価、保管料単価

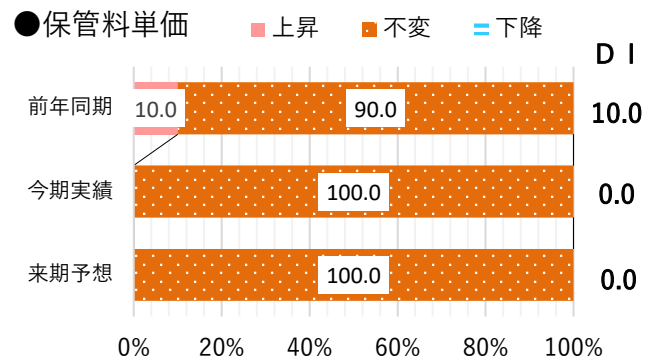
今期の運賃・運送料単価DIは▲13.3で、前年同期と比べ46.6ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、運賃・運送料単価に変化はないと予想しています。



今期の保管料単価DIは0.0で、前年同期と比べ10.0ポイント低下しました。

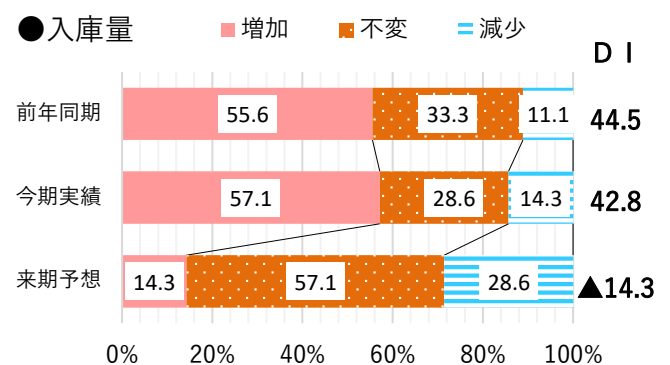
来期は、保管料単価に変化はないと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

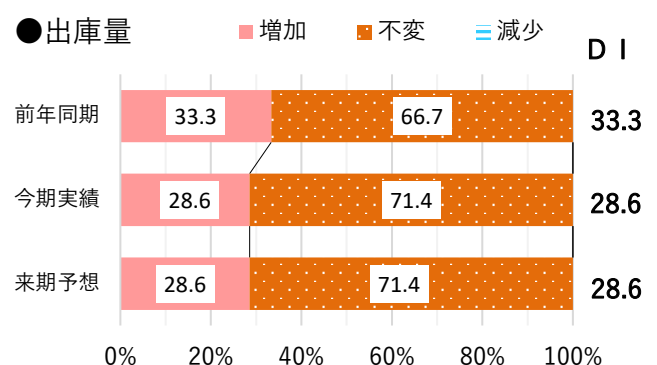
今期の入庫量DIは42.8で、前年同期と比べ1.7ポイント低下しました。

来期は、入庫量が減少に転じると予想しています。



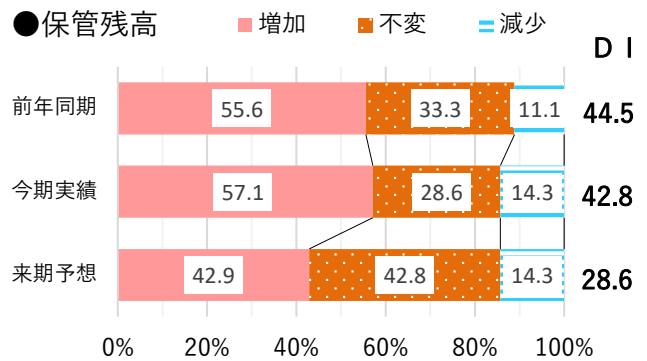
今期の出庫量DIは28.6で、前年同期と比べ4.7ポイント低下しました。

来期は、出庫量に変化はないと予想しています。



今期の保管残高DIは42.8で、前年同期と比べ1.7ポイント低下しました。

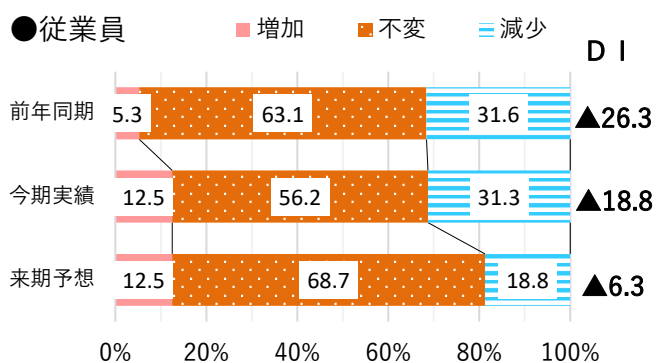
来期は、保管残高の増加傾向が弱まると予想しています。



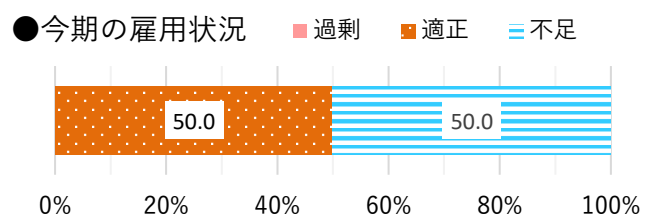
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲18.8で、前年同期と比べ7.5ポイント上昇しました。

来期は、従業員の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は50.0%、不足していると回答した企業の割合は50.0%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の37.5%を占めています。

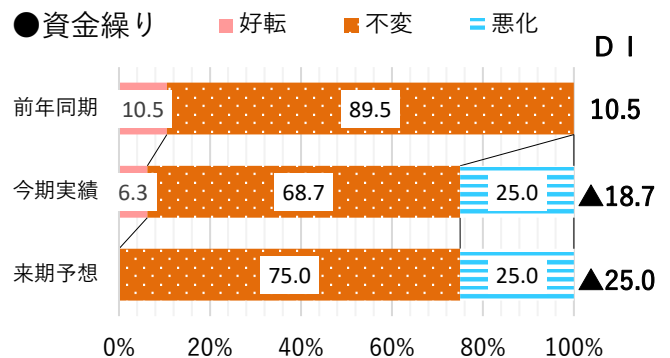
次いで多かったのは「従業員数は前年同期で変わらず、不足している」、「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	6
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	2
	不足	3

資金繰り、設備投資

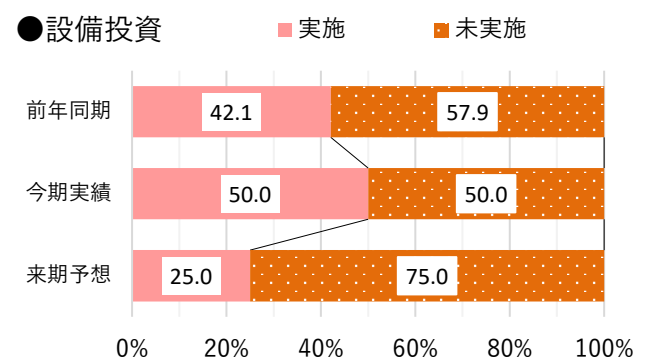
今期の資金繰りDIは▲18.7で、前年同期と比べ29.2ポイント低下し、大幅なマイナスに転じました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が続くと予想しています。



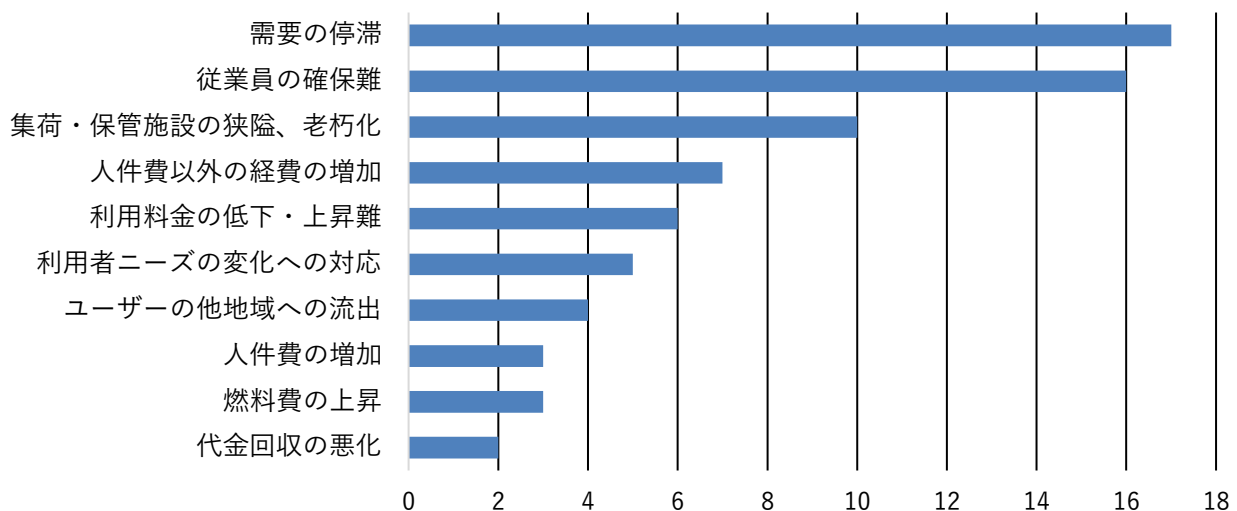
設備投資を実施した企業の割合は50.0%で、前年同期と比べ7.9ポイント上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「付帯施設」、「その他」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は25.0%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「従業員の確保難」、3位が「集荷・保管施設の狭隘、老朽化」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 1年を通じて最も稼働が多い時期だが、例年と比べて業況は良くない。1人でも感染者が出ると業務の大半が止まるため、新型コロナウイルスの感染に注意する。(道路貨物運送)
- 内麦や融雪剤の保管量が増加し、倉庫収入が増加した。乗務員が不足している。(道路貨物運送)
- 品種によって差はあるが、建設材料関係を中心に運搬量が増加した。(道路貨物運送)
- 燃料費が低く抑えられていた。フェリーの輸送料金も低下した。(道路貨物運送)
- 販売不振のため、荷主から運賃の値下げを要求された。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルスによって営業収入が減少した。燃料費は例年通りに推移した。(道路旅客運送)
- 売上が減少した。従業員数は大幅に減少した。(道路旅客運送)
- 新型コロナウイルスの影響により、旅客と貨物の減少が続いている。(水運)
- インバウンドの減少に伴い、飲料等の輸送量が減少した。(港湾運送)
- 総売上が増加し、業況が好転した。(倉庫)
- 在庫量が減少した。(倉庫)

[来期の業況について]

- 除雪の単価を引き上げられず、業務量が増加した場合、業況が悪化するだろう。(道路貨物運送)
- 軽油価格の上昇傾向が気になりだが、前年並みの業況を見込んでいる。(道路貨物運送)
- 今期同様に、燃料費とフェリーの輸送料金は安いと思われる。(道路貨物運送)
- 倉庫収入の増加傾向と人材不足が続くと思われる。(道路貨物運送)
- 市内でのクラスター発生やGo Toキャンペーンの停止など、消費マインドの上昇は期待できない。営業収入や客単価の回復も見込めない。(道路旅客運送)
- 新型コロナウイルスによる業況の悪化が続く。(水運)
- 入出庫量の減少が予想される。(倉庫)